

シルバー ふくちやま

No. 76

令和8年9月1日



いとう すいりん じ
夜久野町板生の瑞林寺での剪定作業
(福知山城で使われていた門に続く参道)

檀家の皆様からの要望で今年度より
シルバーの会員が剪定を行っています。
猛暑の中、熱中症に気をつけて作業をしています。

会員数 579名

男 383名

女 196名

(令和8年8月1日現在)



令和8年度

第42回

定時総会開催

令和8年5月30日(土) 午後1時30分から、ハピネスふくちやま4階ホールで第42回定時総会を開催しました。

中里嘉久理事長の挨拶に続き、理事、監事として3期6年の間ご貢献いただいた加藤洋行様と、15年以上在籍され、センターの発展にご尽力いただいた会員15名の皆様を表彰しました。また、役員、地区班長として長年ご貢献いただいた方々12名に感謝状を贈りました。

続いて、来賓の大橋一夫福岡山市長、高橋和男京都府中丹広域振興局副局長、吉見茂久福岡山市議会議長から祝辞をいただきました。

定時総会は、中六人部地区の井上利廣会員を議長に選出し、議案審議が行われました。結果、議案は全て賛成多数で承認されました。本年度は、役員改選の年で、新たな体制でスタートしています。

当日の出席者

● 当日の会員数	593人
● 出席会員	126人
● 委任状提出会員	351人

議案

- 第1号議案
令和7年度事業報告について
- 第2号議案
令和7年度収支決算報告について
- 第3号議案
理事長に対する権限委任について
- 第4号議案
役員の選任について

報告

- 報告第1号
令和7年度収支補正予算について
- 報告第2号
令和8年度事業計画について
- 報告第3号
令和8年度収支予算について

退　任	
役　職	氏　名
副理事長	松本　和徳
理　事	大林　清子
理　事	岸本　正
理　事	高橋　啓久
理　事	西　和宏
理　事	東山　初代
監　事	加藤　洋行

役員紹介					
役　職	氏　名	地区班	役　職	氏　名	地区班
理　事　長	中里　嘉久	雀　部	理　事	☆衣川　義広	夜久野町
副理事長	☆岡田　勝一	惇　明	理　事	楠元　　學	昭　和
専務理事	山中　明彦	-	理　事	☆細見　直子	中六人部
理　事	阿江　益美	遷　喬	理　事	山田　貞行	成　仁
理　事	☆芦田　　收	外　部	監　事	荒賀　正巳	大　江　町
理　事	足立　和則	成　仁	監　事	☆中川美由紀	外　部
理　事	☆尾松久美子	三和町南			

☆印は新任

令和8年度

事業計画

- 事業経営方策の推進
- 人権尊重を基本とした事業運営
- 健全な安定した事業経営と自主財源の確保
- 安全就業と健康管理の徹底
- 適正就業の実施
- 会員の増強
- 就業機会の確保・拡大
- 職群班の育成強化
- 独自事業の推進と自立促進
- 地区班の活動の推進
- ボランティア活動等社会参加活動の推進
- 普及啓発活動の推進
- 地域課題解決に向けた取り組み
- 情報収集・提供・調査研究
- 個人情報保護の確保
- 組織体制の充実強化
- 組織運営及び事務局機能の再構築
- 会員の福利厚生推進

会員互助会第22回定期総会を開催



5月30日（土）定時総会に引き続き、会員互助会定期総会を開催しました。

- 議案
- 第1号議案

令和7年度事業報告について
- 第2号議案

令和7年度収支決算報告について
- 第3号議案

令和8年度事業計画について
- 第4号議案

令和8年度収支予算について
- 第5号議案

役員の選任について
- 議案は、全て原案のとおり承認されました。

退　任			
役　職	氏　名	役　職	氏　名
会　長	横田　義和	幹　事	松本　五郎
庶務会計	細尾三洋治	幹　事	細見　直子
幹　事	荒木　礼子	監　査	加藤　洋行
幹　事	谷口　幸美		
幹　事	飯島由紀子		
幹　事	細見　克彌		

役員紹介			
役　職	氏　名	役　職	氏　名
会　長	☆塩見　　均	幹　事	☆鳥川ゆり子
副会長	☆藪見　憲昭	幹　事	☆細見千代美
幹事兼庶務会計	☆井本久美子	幹　事	牧　　変
幹　事	☆大槻　貞巳	事務局長	山中　明彦
幹　事	☆加藤加代子	監　査	荒賀　正巳
幹　事	鈴木　行雄		

☆印は新任

感謝状・表彰状の贈呈 (敬称略)

感謝状

★役員 3 期末満在職、地区班長

副理事長、監事	松本 和徳 (2 期 4 年)
理 事	東山 初代 (2 期 4 年)
理 事	岸本 正 (2 期 4 年)
理 事	大林 清子 (1 期 2 年)
理 事	高橋 啓久 (1 期 2 年)
理 事	西 和宏 (1 期 2 年)

地区班長	田内 稔	地区班長	福井 繁
地区班長	大槻 貞巳	地区班長	須藤 幸夫
地区班長	谷 光幸	地区班長	藤田 輝雄

表彰状

★役員 3 期以上在職

理 事、監 事	加藤 洋行 (3 期 6 年)
---------	-----------------

★正会員として 15 年以上在籍

会 員	塩見 均	会 員	大槻 左近
会 員	由良 昭	会 員	由良 定子
会 員	藤沢 榮子	会 員	福井 勉
会 員	金山 光男	会 員	中川 敏子
会 員	片岡 美義	会 員	桐村久美子
会 員	塩見 民子	会 員	塩見 明司
会 員	足立 忠男	会 員	大槻 弘之
会 員	森田 義巳		

★職員として 10 年以上勤務

職 員	四方加津之	職 員	柏 和彦
-----	-------	-----	------



公益社団法人 福知山市シルバー人材センター地区班長等役員・互助会協力員名簿 (令和8年8月1日現在)

地区班	役職名	役員名
惇明	班長	石川 勉
	副班長	松浦 征彦
昭和	班長	竹下 義崇
	副班長	楠元 學
	地区員	畠中 保穂
	地区員	牧 変
	地区員	細尾 三洋治
	地区員	金山 光男
	地区員	荒木 礼子
	地区員	大西 哲朗
	地区員	竹下 義崇
	地区員	楠元 學
	地区員	桐村 達夫
	互助会協力員	桐村 達夫
大正	班長	横田 義和
	副班長	大槻 ノリ子
	地区員	坪井 隆
	互助会協力員	大槻 ノリ子
雀部	班長	山田 博允
	地区員	安達 喜昭
	地区員	植村 全美
	地区員	森口 安子
	地区員	飯尾 忠雄
	地区員	佐藤 文男
	地区員	柴垣 宏之
	地区員	高山 礼子
	互助会協力員	稲継 久子
遷喬	班長	足立 重行
	地区員	芦田 眞
	地区員	森下 英二
	地区員	高橋 章
	地区員	神野 克行
	互助会協力員	高橋 章

地区班	役職名	役員名
成仁	班長	杉田 和明
	互助会協力員	川口 幸男
庵我	班長	安達 丈嘉
	副班長	田内 稔
	地区員	安達 博明
	地区員	西田 典右
	地区員	原 美恵子
	地区員	安達 丈嘉
	地区員	塩見 満博
	地区員	植村 明郎
	地区員	塩見 均
佐賀	班長	松本 五郎
	互助会協力員	松本 五郎
修斉	班長	薮見 憲昭
	副班長	穂田 茂樹
	副班長	福井 繁
	地区員	山下 三喜男
	地区員	藤田 隆雄
	地区員	田邊 善造
	地区員	穂田 茂樹
	地区員	足立 修
	地区員	和久 唯知郎
	※地区員	小林 和幸
	互助会協力員	藤田 隆雄
上豊富	班長	足立 隆義
	副班長	林 信治
	互助会協力員	足立 隆義
下六人部	班長	山口 省三
	副班長	坂本 葵
	地区員	竹内 さち子
	地区員	井上 和美
	地区員	日下 佐代子
	地区員	坂本 葵

地区班	役職名	役員名
下六人部	地区員	大槻 力
	互助会協力員	永田 明雄
中六人部	班長	井上 利廣
上六人部	班長	福井 広幸
	互助会協力員	福井 勉
下川口	班長	大野 勲
	副班長	立居 秀一
	互助会協力員	須藤 幸夫
上川口	班長	西村 壽彦
	副班長	阪梨 範明
	地区員	藤田 健一
	地区員	池澤 誠
	互助会協力員	阪梨 範明
三岳	班長	谷 光幸
金山	班長	大林 清子
	副班長	森下 やすゑ
	地区員	岩口 幸枝
雲原	班長	川戸 博
	互助会協力員	山村 隆
三和町北	班長	谷野 正大
	副班長	岡村 進
三和町南	班長	細見 千代美
	副班長	尾松 久美子
夜久野町	班長	峠尾 充
	副班長	西 和宏
	地区員	衣川 進
	互助会協力員	衣川 淳
大江町	班長	新田 要

入会説明会の日程

10月7日(水) 10月20日(火) 11月9日(月) 11月18日(水) 12月1日(火) 12月11日(金)
令和9年 1月22日(金) 2月1日(月) 2月16日(火) 3月1日(月) 3月12日(金)

【場所】 公益社団法人福知山市シルバー人材センター 福知山市昭和新町162番地 【時間】 午後1時30分から3時
【電話】 0773-23-7677 【要件】 福知山市内にお住まいの健康で働く意欲のある概ね60歳以上の方

令和8年度安全就業対策について

安全就業はシルバー事業の基本であり、発注者や地域社会の信頼と存在感を得るため大変重要な要素です。「安全はすべてに優先する」「安全なくして就業なし」を合言葉に「事故0運動」を継続実施しています。

◆令和7年度の事故の発生状況

	R7	R6	増減	事故の主な内容
傷害事故	10	6	4	骨折 4、切り傷 3、熱中症、蜂刺されなど
物損事故	15	20	△5	破損 8、車両接触事故 4、飛石など

令和7年度の傷害事故は、清掃作業中に転倒し骨折した、検針中、積雪により滑って転倒し負傷した、機械除草中に熱中症になるなどでした。自分自身が「安全を確認しながら安全・安心な就業を行う」、「自分の安全は、自分で守る」ということを強く意識しましょう。

物損事故は、剪定作業中のガラス破損、旧通信線の切断、機械除草中の住宅の壁やベンチの破損、飛石によるガラスの破損、車両接触による車両破損など合計15件の発生となりました。車両は、安全確認し運転はできていますか。事故はちょっとした心のゆるみ、不注意が原因となっています。

令和8年度から令和10年度のシルバー人材センターにおける「全国统一就業スローガン」は「声掛けは 仲間を守る いのち綱」です。一人ひとりが安全意識を高め、仲間同士で声を掛け合いながら、事故の未然防止を徹底し、安全・安心な就業を皆で推進しましょう。

●「安全就業委員会」を開催

令和8年6月22日（月）令和8年度第1回安全就業委員会を開催しました。

令和8年度の取り組みについて検討し、安全就業委員会による安全パトロールの実施、就業前の安全確認や就業中の安全対策に重点をおいて安全就業に努め、「事故0運動」を継続して実施することとしました。



7月29日安全パトロールの様子

安全就業委員会委員名簿

役 職	氏 名	摘 要
委員長	楠元 學	担当理事
副委員長	桐村 達夫	職種班(機械除草班)
委 員	尾松久美子	担当理事
委 員	石川 勉	地区班長(惇明地区)
委 員	松浦 征彦	会員(撤去業務)
委 員	山中 明彦	専務理事

事故調査会議委員名簿

役 職	氏 名	摘 要
委 員	楠元 學	安全就業委員会委員(理事)
委 員	畠中 保穂	職種班班長
委 員	坂本 葵	会員
委 員	石川 勉	有識者
委 員	山中 明彦	専務理事

「令和8年度安全・適正就業推進大会」へ参加

京都府シルバー人材センター連合会は、7月30日（木）午後1時30分から、京都市の京都府立総合社会福祉会館で「令和8年度安全・適正就業推進大会」を開催しました。大会には、安全就業委員会委員等5名が参加しました。



大会では株式会社大塚製薬工場の園村 淳さんを講師に迎え、「脱水症＆熱中症について」と題して講演がありました。

講演では、熱中症Ⅰ度の症状が見られたら「予防ではなく対処」が必要で、必ず誰かが付き添い様子を見守りつつ「涼しい場所での休憩」「身体を冷やす」「経口補水液を飲む」といった対応をとること。また、働く人は「水分補給も大事な仕事」と考えて下さい。水分補給は、健康な状態なら水・お茶で十分、軽い運動程度ならスポーツドリンクなど、脱水状態（熱中症重症度分類Ⅰ度）なら経口補水液を「飲む点滴」として摂取すると使い分けが必要と話されました。

◆熱中症の症状と治療(日本救急医学会『熱中症診療ガイドライン2024』より)

重症度	症状	治療
Ⅰ度	●めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗、筋肉痛、筋肉の硬直（こむら返り） ●意識障害はなし	通常は現場で対応可能 身体を冷やす、 経口的に水分と電解質（塩分など）の補給
Ⅱ度	●頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感 ●集中力や判断力の低下	医療機関での診療が必要 十分な水分と電解質（塩分など）の補給 （経口摂取が困難なときには点滴にて）
Ⅲ度	中枢神経症状 （意識障害、けいれん発作）	入院の上、身体を冷やすなどの治療
Ⅳ度	深部体温 40.0℃以上	早急に入院し、集中治療が必要

また、会員に向けて募集した「安全・適正標語」には9名21件の応募がありました（昨年は、17名49件）。このうち、「慣れた作業 気のゆるみが 事故のもと」（吉田 忠司会員）、「ちょっと待て！ それでいいのか 再確認」（梅原 悟会員）の二点を推薦しました。

まだまだ暑い日が続きます。
熱中症に十分気をつけましょう！

地域課題解決に向けた取り組み

シルバー人材センターが幅広い領域にわたって課題解決に対応できるものではありませんが、これまで培ってきた経験や知見を踏まえたうえで、可能な範囲で地域課題の解決に向けチャレンジすることがセンターが果たすべき公益的な役割です。

(1) 空家管理事業

従来から取り組んでいる除草、剪定、清掃等で積極的に関わることで危険な空家になることを防止します。



Before

After



Before

After



(2) 農地機能維持管理支援

農業従事者の高齢化等により管理されない農地が増加すると、地域としての管理負担が増大します。農地が持つ多面的な機能を維持するため、センターとして農地機能の保全に取り組めます。

(3) 伝統文化継承支援

シルバー人材センターでは、新年を迎えるために神社の本殿や鳥居に飾られる大規模なしめ縄をご注文に応じて制作しています。新たなご注文にも対応できます。製作には時間を要しますので、お早目にご相談下さい。



シルバー人材センターと人権

シルバー人材センターの就業は、地域の公共事業を始め、民間事業者様からの仕事、さらには個人あるいは家庭のニーズから発生する仕事等非常に多岐にわたっています。そして、会員は就業を通じて、発注者、発注者の顧客、地域住民、会員など、直接又は間接的に多くの人々と関わり合っています。そのため、就業においては人権を尊重するとともに、就業マナーや安全に配慮した行動が、必須となります。

とりわけ、人権は私たち一人ひとりが生まれながらに持つ、誰にとっても最も大切なもので、お互いの思いやりの心によって守られなければならないものです。しかしながら、部落差別、女性、高齢者、子ども、障害のある人、女性の人権、外国籍の人などの人権問題の解決が大きな社会的課題となっています。

シルバー人材センターでは、会員及び職員一人ひとりが人権意識を高めることが就業に欠かせないものであると認識し、社会的責任として人権尊重を基本とした事業運営を進めていきます。

お客様の声

京都共栄学園中学校・高等学校は創立78年を迎えました。その歩みの中で、約40年にわたり休日や夜間の宿直業務を福知山市シルバー人材センターの皆様にお世話になっております。夜間の巡回や施錠確認など、見えないところで学校の安全・安心を支えていただき、教職員一同、心より感謝申し上げます。長年にわたり責任感を持って誠実に職務を果たしてくださる皆様のおかげで、本校は安心して教育活動に専念することができています。本校では、建学の精神「自立共栄」のもと、自ら学び、自ら考え、思いやりの心を育む教育を大切にしています。これからも地域に愛され、地域とともに歩む学校として、皆様とのご縁を大切にしていまいります。

京都共栄学園中学校・高等学校 教職員一同

会員募集中!

定時総会で15年表彰を
受けられた会員さんです。



生き生き広場

- ①出身地 ②出身小学校・中学校 ③地区班
④シルバー会員歴(令和8年7月1日現在) ⑤趣味
⑥就業内容 ⑦シルバー会員で良かったこと



しお み ひとし
塩見 均

- ①福知山市
②庵我小学校
桃映中学校
③庵我地区班
④16年2ヶ月

⑤フィルムカメラ

⑥剪定

⑦「いい先輩と仲間がいる場所」先輩から仕事、掃除のイロハを教えてもらい、使っておられた道具を廉価で譲ってもらい、また剪定では、通信教育で入口を教わり、今まで仕事をして来ました。後は仲間にお伝えしていく事だと思っております。



なか がわ とし こ
中川 敏子

- ①佐賀県佐賀市
②循誘小学校(佐賀市)
城東中学校(々)
③惇明地区班
④15年10ヶ月

⑤グランドゴルフ、ボーリング、和太鼓、スポーツ観戦

⑥清掃、府民だより配布

⑦15年になるんだと自分でも驚いています。何か仕事をしたいと思い会員になりましたが、それ以上に多くの方々にお会いできたり、行事等にも参加して楽しんでいます。



しお み たみ こ
塩見 民子

- ①福知山市
②上川口小学校
川口中学校
③雀部地区班
④15年8ヶ月

⑤書道、手芸、草木染

⑥清掃、府民だより配布

⑦15年も経過したとは驚きです。清掃や府民だより配布をし、理事をしたり、シルバーショップ、太鼓、手芸と楽しみました。青山さんや藤田さんに登山に誘われ楽しく登ったのも思い出です。



おお つき ひろ ゆき
大槻 弘之

- ①福知山市
②佐賀小学校
成和中学校
③佐賀地区班
④15年8ヶ月

⑤スポーツ観戦

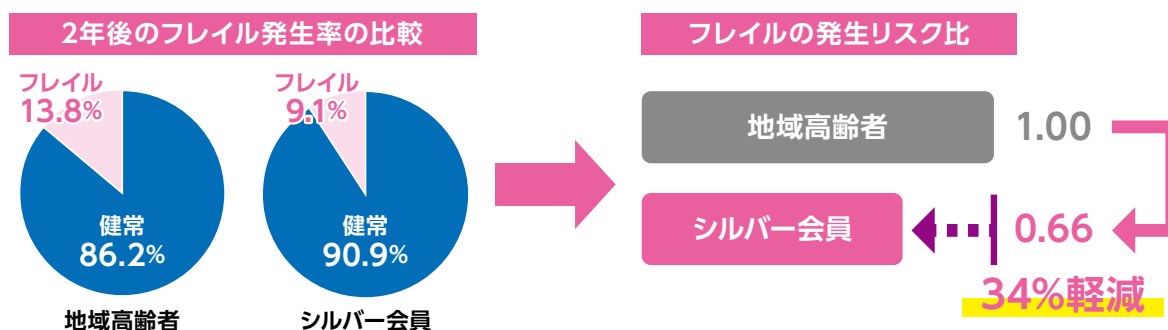
⑥水道検針、マラソンライン引き、しめ縄製作

⑦水道検針に携わってからの年月を振り返ると、仲間の方をはじめ多くの方々との出逢いは、私の生涯に大切な宝物となりました。全ての事に感謝です。

「シルバー人材センター」での就業が フレイルの抑制に効果

要介護の前段階の状態のことを「フレイル」といいます。

シルバー人材センターに登録して就業している会員は、会員でない地域高齢者に比べ、「フレイル」の発生率が34%軽減されることが、シルバー人材センターの全国組織である公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が行った調査研究で明らかになりました。この調査研究は、2021年度から2024年度にかけて全国50か所のセンターから得られた75歳から84歳までの会員及び地域高齢者に関するデータを分析したもので、分析結果として、2年後のフレイルの発生率は、会員でない地域高齢者の13.8%に対して、センター会員は9.1%と低く、統計的な有意差が認められました。



一緒に考えてみませんか？

あなたの、ここに、ぴったりと。

これからの暮らしやもしものときの医療・介護について、家族等と話し合うことを「人生会議（ACP）」といいます。

福知山では医師会、中丹西保健所、市が連携し、劇を通じてACPを身近に感じてもらう普及啓発を行っています。難しい言葉ではなく、“あなたの、ここに、ぴったりと。”というメッセージを通して、誰もが自分らしい人生について考えるきっかけづくりを進めています。

医師が実際に経験した“看とり”の場面をもとにした劇「人生の寺子屋」は、今年度は『最期まで自分らしく生きるために～おひとりさまでも、認知症になっても～』をテーマに上演します。劇中では、医師が率いるバンドによる生演奏もお楽しみいただけます。

日時 11月28日(土) 15時から

場所 ハピネスふくちやま4階市民ホール

詳しくは広報ふくちやま
10月号をご覧ください。



人生の寺子屋 2026メンバー

シルバー行事

お知らせ案内板

●令和8年10月17日(土)予定

8時 清掃ボランティア 13時30分 親睦グラウンドゴルフ大会

●令和8年10月24日(土)予定 午前中 シルバーの日普及啓発活動

●令和8年11月22日(日) 7時45分 福知山マラソンボランティア

頭の体操

□に共通する
ひらがなは？

① □□ もの

□□ がさ

すえ □□

□□ る

② □□ まし

わ □□ (地名)

みず □□

□□ ぶた

答え

① □□ □□

② □□ □□

就業相談日

会員からの就業に関する相談を受けます。

就業の問題等どのようなことでも結構です。

相談日 毎月20日 午後2時～

(2日前までに事前申し込み必要)

相談対応者

安全就業委員長
及び事務局長

哀悼

謹んで哀悼の意を表し
ご冥福をお祈り申し上げます。片山 砂雄様 (遷喬地区班) 令和8年3月 逝去
前原 章様 (三岳地区班) 令和8年7月 逝去

投稿の募集



事務局では、会報誌「シルバーふくちやま」に掲載する写真、原稿を募集しています。題材は自由で、体験談、感想文、随筆、俳句などをお気軽に。会員の皆様の投稿をお待ちしています。

編集後記

○人生100年時代を迎え、今後人口は減少し、逆に高齢者は増加。まもなく人口の三割は高齢者になると見込まれています。高齢者の就業事業に対する社会的ニーズも高まっている現状を考えると、生涯現役のシルバー人材センターの存在は極めて重要であることを再認識させられます。

編集委員長 桑原 秀行
編集委員 氷上 孝宣 森 正宣阿江 益美 細見 直子
山中 明彦